



# 徳島市民病院だより

徳島市民病院の理念  
「思いやり・信頼・安心」

R05/04

34号

〒770-0812 徳島市北常三島町2丁目34番地 徳島市民病院広報管理室 TEL (088) 622-5121 (代表)

## 院長就任のご挨拶 徳島市民病院 二十代院長 中野 俊次

徳島市民病院は、令和5年2月1日で開設95年になりました。市民の方々や近隣を問わず多くの先生方に支えられ、この地域の診療を担ってきた当院において、私は4月から病院長を拝名いたしました。三宅 秀則前院長が7年間にわたり強いリーダーシップをもって病院を牽引してこられたことに深い感謝と尊敬の念を抱いており、少しでも早く先生の域に近づけるよう頑張る所存ですので、よろしくお願いたします。

私には、徳島市民病院を一番良い病院にしたいという夢があります。良い病院とは何か？それは誰からも信頼される病院だと考えます。患者さんにはベストな治療を提供でき満足していただけるように、紹介元の病院・診療所の先生方からは患者さんを紹介して良かったと言ってもらえる病院を目指していきます。それに加えて、当院をより良くしたいという気持ちをすべてのスタッフが共有し、円滑なチーム医療ができるように努力し続けることが必要です。もちろん、徳島市民病院がすべての領域をカバーできるとは考えておりません。この地域において何をなすべきか、どのような領域が強みか、反対にどのような領域が弱みかを認識し、周りの病院や診療所と連携・協調して、お互いの専門性を研ぎ澄まして協力しなければならないと考えています。

当院の理念は、思いやり・信頼・安心です。私見ですが、この中で一番大切なことは思いやりではないかと考えます。患者さんに対してはもちろん、一緒に働くスタッフに対する思いやりがあれば、周りの方々からも信頼を得ることができ、何よりも安心できます。高校時代、漢文の先生から「人として一番大切なこと、それは恕だ！」と



院長  
中野 俊次

孔子の言葉を教わりました。恕は思いやりと訳され、その教えがずっと私の心底に残っていました。当院においては10年前に、開院85周年を記念して当時の露口 勝事業管理者、惣中 康秀院長が蜂須賀桜を植樹し、『恕の木』と名付けられるという出来事があり、不思議な縁を感じたものです。その蜂須賀桜は、市民病院のシンボルツリーとして今年も立派な花を咲かせていました。このような背景から、当院の理念のひとつである“思いやり=恕”を基軸として、私は病院の運営に携わっていくことを決意いたしました。

私が市民病院に赴任してからの15年間は、整形外科を中心に頑張ってきましたが、これからは病院全体をより良くするために全力を尽くす覚悟であります。健全な病院運営を行っていく上では、大学病院をはじめ連携病院・診療所の先生方、当院の医師をはじめ多職種のスタッフの皆さんのお力添えが不可欠です。今後も地域の方々から一層頼られる中核病院を目指して努力し続けてまいりますので、変わらぬご指導ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

## 新副院長ご挨拶

### 副院長 兼 外科総括部長 兼 患者支援センター長 日野 直樹

徳島市民病院は徳島市の東部にあり、地域の中核病院として周辺の方々や連携医の先生方から信頼される病院を目指しています。私は4月1日より、副院長を務める事になりました。外科総括部長と患者支援センター長、栄養管理室長も兼任しています。

当院の3本柱の一つであるがんセンターは、新型コロナ対応のため緩和ケア病棟の一時閉鎖や緩和ケア外来の中断を余儀なくされました。前年度までがんセンター長を務めてきた私としては、ロボット手術や新規MRIの導入でがん治療をよりよいものにすると共に、コロナの状況にもよりますが緩和ケア外来の充実と、緩和ケア病棟の再開をめざします。あんしんカードを通じて、在宅治療を行う連携医の先生方のバックベッドとしての機能を復活させていこうと考えています。

また、救急医療も当院の大切な役割です。医師不足や令和6年から始まる医師の働き方改革という難問がありますが、これからも地域の方々に安心していただけるよう、中野院長を中心に4人副院長体制で責任を持って勤めて参りたいと考えています。よろしくお願いいたします。



### 副院長 兼 泌尿器科総括部長 福森 知治

徳島市民病院は今まさに、大きな変革の渦の中にあります。ポストコロナに向け、今までの常識にとらわれない医療体制の取り組みが必要となり、さらに手術支援ロボットなどの最新の医療装置の新規導入により、より高度な治療を提供する更なる努力も必要になっています。

新しい取り組みの実践には勇気と多くの労力が必要であり、われわれ職員の一人ひとりが責任感と高い志を持ち、モチベーションを維持して努力を継続していくことが大切です。そして、医療現場の変化に柔軟に対応していくことで徳島市民病院が更に発展し、その結果、連携医の先生方から信頼・安心され、地域医療に貢献できる病院になることへ繋がると思います。

私自身、「change」を「chance」と捉え、泌尿器科分野のみならず徳島市民病院での取り組みが一步一步前進していくための努力をしていきたいと考えています。何事においても謙虚に、誠意を持って対応させていただきますので、先生方のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



### 副院長 兼 臨床教育センター長 岸 史子

この度、副院長を拝命いたしました。私は平成14年より徳島市民病院で勤務しており、今年で21年目となります。医師としてのキャリアの2/3をこの市民病院で過ごしており、私にとって本当に愛着のある病院です。患者さんや連携医の先生方にとっても、同じように愛着を持っていただける病院であることが私の目標です。

愛される病院であるために、患者さんの意思を尊重し、個々の患者さんに安全で確実な医療を届けることを目指していきたいと思っております。またこの度、田村副院長より臨床研修センター長を引き継がせていただいたこともあり、この思いを共有できる優れた医療者を育てるという目標も掲げていきます。さらに執行部唯一の女性として、女性ならではの視点から新鮮な風を吹かせていければと考えております。

これまで内科をまとめること、盛り立てることに注力して参りましたが、今後内科は勿論、病院全体が発展し、地域医療に貢献できるよう尽力していきたいと思っております。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。





## 第21回徳島GMラウンド参加

徳島県では、大学病院内に設置された徳島県地域医療支援センターが中心となり、若手医師の総合診療能力の育成と指導医の指導力向上を目的とした教育カンファレンス・教育回診を、年に2～3回実施しています。これは通称、徳島GMラウンドと呼ばれ、地域医療を担う医師のキャリア形成支援事業の一環として臨床研修指定病院等が持ち回りで担当しています。

2月4日の第21回 徳島GMラウンドでは、当院が担当となりました。コロナ禍のため2年間の中止、前回はWEB開催でしたが、今回は会場(大学病院日垂ホール)とWEBのハイブリッド方式で、45名の参加者のもと開催することができました。

前半の症例検討では、橋本 年弘臨床教育センター副センター長(開催時)の司会のもと当院研修医の原 将巳、松本 真奈、阿部 紗也加が症例検討を行い、他病院研修医の参加も促しました。特別講演では、宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座の吉村 学教授に「地域医療研修を楽しむ10のコツ」のテーマで講演いただき、参加



GMラウンド終了後に、参加された皆さんと

者に新たな視点を提供いただきました。

当院が徳島GMラウンドの担当となるのは3回目で、平成28年11月19日に第12回を担当して以来のことです。運営に当たりまして、事務部の庶務やシステム担当の方々に協力いただき、入念な準備で滞りない運営を行うことができました。(副院長 田村 公一)

## LED自光式看板点灯

当院に最初のLED看板が取り付けられたのは平成28年3月のことです。正面玄関上の3階西向きの壁面に「徳島市民病院」、北面4階のバルコニーには「TOKUSHIMA MUNICIPAL HOSPITAL」の文字が掲げられました。

そしてこの度、北面11階バルコニーへ新たに「徳島市民病院」のLED看板が追加されました。文字は大きく、点灯時の光量も十分です。夜間に通行量の多い国道11号

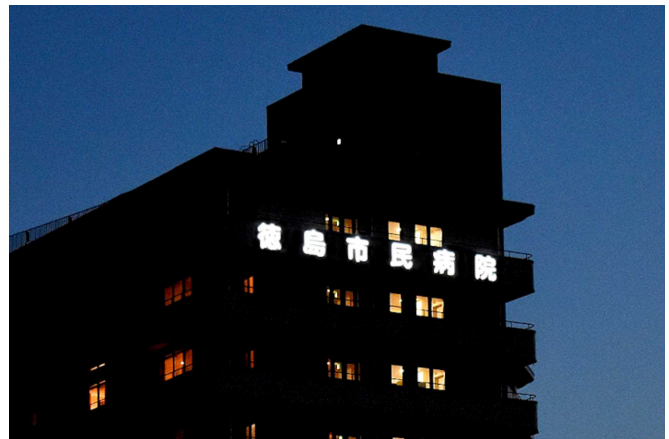
を車で通過していても、はっきりと読み取ることのできる視認性の高さが好評です。

行動制限が緩和される中、開院から95年の歴史を持ち、吉野川と眉山に囲まれて地域住民の皆さんに親しまれてきた市民病院を、県内だけでなく県外からの来訪者にも知っていただく一助となることが期待されます。

(広報管理室 竹内 明子)



病院北側壁面



ライト点灯時

# 新任医師、臨床研修医ご紹介

徳島市病院局は4月1日付で人事異動を発令しました。当院は医師12名を採用。臨床研修医7名を含め、19名が着任しています。医師の主な昇格は以下のとおりです。(旧任：新任の順に記載)

▽内科 橋本 年弘診療部長：総括部長 兼 がんセンター長  
 ▽内科 長谷 加容子診療部長：関節治療センター長 兼 診療部長  
 ▽内科 兼 救急室 井野口 卓主任医長：診療部長

▽脳神経外科 木内 智也主任医長：診療部長 ▽整形外科 後東 知宏主任医長：診療部長 兼 関節治療センター副センター長  
 ▽放射線科 古谷 俊介主任医長：診療部長 ▽泌尿器科 木内 慎一郎主任医長：診療部長 兼 がんセンター副センター長

当院は今後も地域の中核病院としての役割を果たしてまいります。ご協力の程、何卒宜しくお願いいたします。



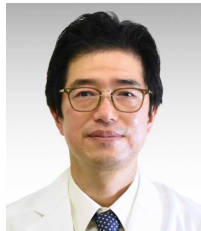
外科 診療部長  
**尾形 頼彦**

内視鏡外科、消化器外科



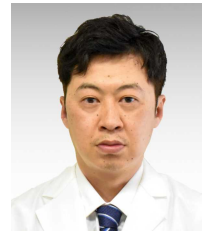
外科 診療部長  
**渡邊 貴紀**

消化器外科、消化器がん化学療法



耳鼻咽喉科 診療部長  
**岩崎 英隆**

耳鼻咽喉科、頭頸部外科



外科 主任医長  
**澤田 徹**

呼吸器外科、乳腺外科



小児科 主任医長  
**郷司 彩**

小児神経学・小児科学、臨床遺伝学



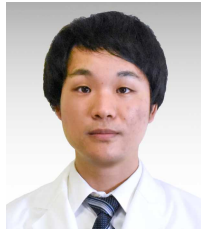
泌尿器科 主任医長  
**津田 恵**

一般泌尿器科、女性泌尿器科ほか



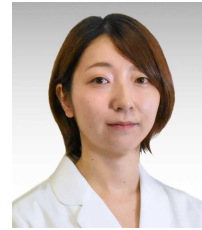
産婦人科 主任医長  
**立花 綾香**

産科婦人科



内科 医員  
**藤井 祥平**

消化器内科



内科 医員  
**八木 麻衣**

消化器内科



麻酔科 専攻医  
**前田 卓哉**

麻酔科



麻酔科 専攻医  
**岡本 将裕**

麻酔科



病理診断科 専攻医  
**富田 満**

病理学



臨床研修医 (1年次)  
**森下 丈**

臨床研修医 (1年次)



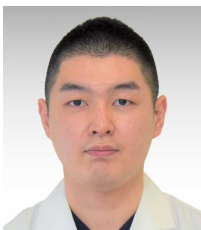
臨床研修医 (1年次)  
**田上 陽菜**

臨床研修医 (1年次)



臨床研修医 (1年次)  
**柴田 祥伍**

臨床研修医 (1年次)



臨床研修医 (1年次)  
**井垣 孝信**



臨床研修医 (1年次)  
**山口 雄大**



臨床研修医 (1年次)  
**瀬戸山 千紗**

臨床研修医 (1年次)



臨床研修医 (1年次)  
**千頭 仁志**

臨床研修医 (1年次)



Tokushima Municipal Hospital